

# 理科室からこんにちは

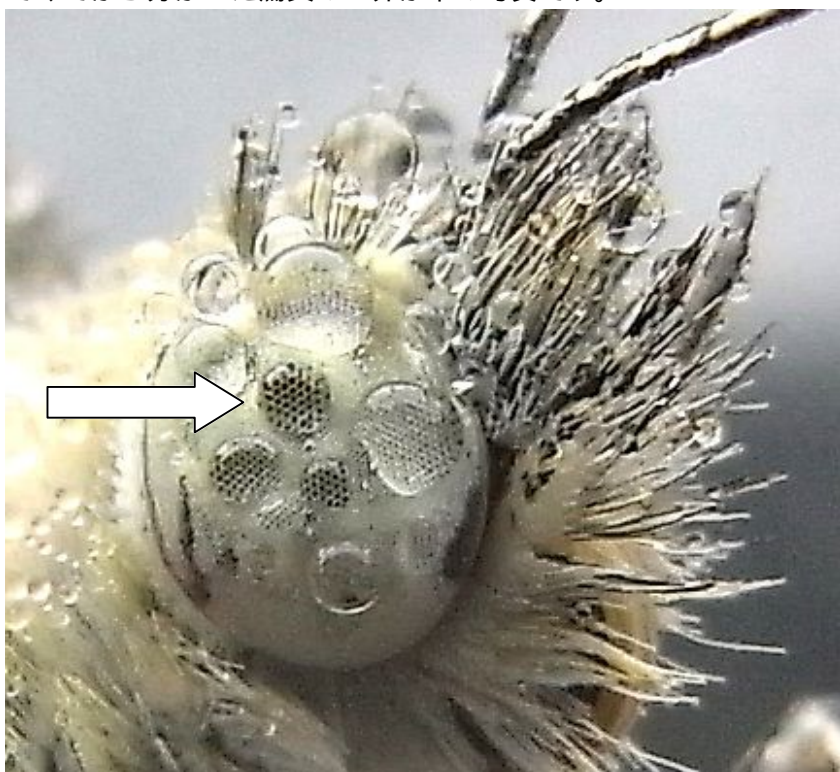
～ 親子で理科を楽しもう ～

平成20年9月12日

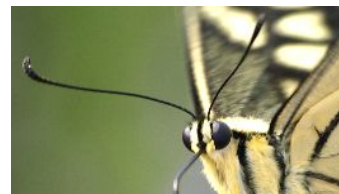
## 複眼と単眼の話

前号「カマキリの目を見てみよう」の続きです。ムシが苦手な人はごめんなさい。

複眼について14号で述べましたが、その複眼の構造がよく分かる写真がなかったなあ、と思い撮りましたよ、9月10日に。おとといですね。朝の霧にぬれ、乾くのを待っているモンシロチョウを激写しました。レンズ先端との距離は2cm位だったのでしょうか。そこで見た、というか、撮ってみてから分かった驚異の世界が下の写真です。



とても肉眼では確認できない世界が見えました。朝の霧が水滴になって目に付着していたのが幸いし、レンズで大きくした効果が得られたのです。蜂の巣のような構造の複眼が、ばっちり分かりますね。



チョウの単眼は分かりにくいですね。

単眼は、カマキリ以外の昆虫にもあります。二個か三個あって、光の明るさを感じます。この目で、昼や夜を感じているようです。ヒグラシは赤く、アカネは白い単眼です。



さあ、昆虫とにらめっこしてみませんか？



(例によって撮影はすべて筆者)